

令和元年度

相談部会
計画相談部会

相談部会・計画相談部会 幹事

- つづきの家相談支援センター 平野氏
- グリーンフォーレスト相談室 五浦氏
- 都筑区生活支援センターこころ野 小菅氏
- 都筑区役所 高齢・障害支援課 田中氏・石川氏
- 都筑区基幹相談支援センターくさぶえ 中谷・齋藤・坂本

計画相談部会

目的

計画相談支援事業所が集まり、研修会やサロン等を通して、**連携とスキルアップ**を図る。
相談支援専門員の皆さんの元気が出る会を目指す！

連携

- ・孤立させない取り組みをします！
- ・強みを知り、事業所を超えた連携の促進を図ります！

スキルアップ

- ・実施プロセスの標準化を図り、計画相談支援の促進につなげます！
- ・学びあうことで、日々の支援や業務のヒントになるような取り組みをします！

計画相談部会の様子



机上の大きなワークシートを埋めます

ホワイトボードを効果的に活用！



相談支援部会 ～全ては地域のために・・・！～

目標

- ・相談支援従事者が、個別の事例を通じて、都筑区の障害児・者に関わる地域課題を意識する
- ・個別事例から考える都筑区障害児・者の地域課題を意識する。

ねらい

- ・本人の希望する生活の実現のために、相談支援従事者が既存の制度にとらわれず、地域にある資源やネットワークの力も活用した支援ができるようになる。
- ・障害児・者が地域生活を送る上で必要なこと、「地域課題」を考える

相談支援部会の様子



総合保健医療Cの飯塚さんにスーパーヴァイザーをお願いしました。

今年度の活動

■ 第1回計画相談部会 (R1年7月22日 ころ野にて実施)

『相談員どうしてケースを話そう!』

■ 第2回計画相談部会 (R1年9月19日 かけはし都筑にて実施)

『本人のニーズを探るアセスメント～医療的ケアと進行性疾患のある大学生の希望する暮らしとは?』

■ 第3回計画相談部会 (R2年1月17日 かけはし都筑にて実施)

『グループスーパービジョンで相談員の「困った…」を考えよう!』

■ 第4回計画相談部会 (R2年3月2日 中止…)

◆ 第1回相談部会 (R1年10月8日 かけはし都筑にて実施)

『医療的ケアと進行性疾患のある大学生のケース～「希望する暮らしを地域で支える」とは～』

◆ 第2回相談部会 (R2年2月12日 かけはし都筑にて実施)

『個別事例から都筑区の地域課題を考える』

相談支援部会と計画相談部会の連動性①

～「地域課題」を考えるために～

① 計画相談員のみなさまの事例を共有。地域課題を含むかもしれない事例の選定

■ 第1回計画相談部会(R1年7月22日実施)『相談員どうしてケースを話そう!』

② ①で選定した事例のニーズをアセスメント。

■ 第2回計画相談部会(R1年9月19日実施)

『本人のニーズを探るアセスメント～医療的ケアと進行性疾患のある大学生の希望する暮らしとは?～』

③ ②のニーズを叶える支援・資源は?プランを考える。

◆ 第1回相談部会(R1年10月8日実施)

『医療的ケアと進行性疾患のある大学生のケース～「希望する暮らしを地域で支える」とは～』

叶えることができないニーズ＝地域課題かも?

相談支援部会と計画相談部会の連動性②

～「地域課題」を考えるために～

① 複数の事例からニーズと課題を整理する。

■ 第3回計画相談部会（R2年1月17日かけはし都筑にて実施）

『グループスーパービジョンで相談員の「困った…」を考えよう！』

② 解決できない課題＝地域課題(?)の洗い出し。

◆ 第2回相談部会（R2年2月12日かけはし都筑にて実施）

『個別事例から都筑区の地域課題を考える』

今年度の相談部会を通じて残された課題（地域課題）

- 見守り体制が作りづらい
- 病識・病気の理解が進まない
- 支援者のマッチングがうまくいかない
- 支援拒否
- 利用できる資源が少ない
- 家族へのフォロー
- 意思決定支援
- 医療との連携

**次年度の相談部会では、
これら課題をそのままにすることなく、
具体的な解決手段を探っていく！**